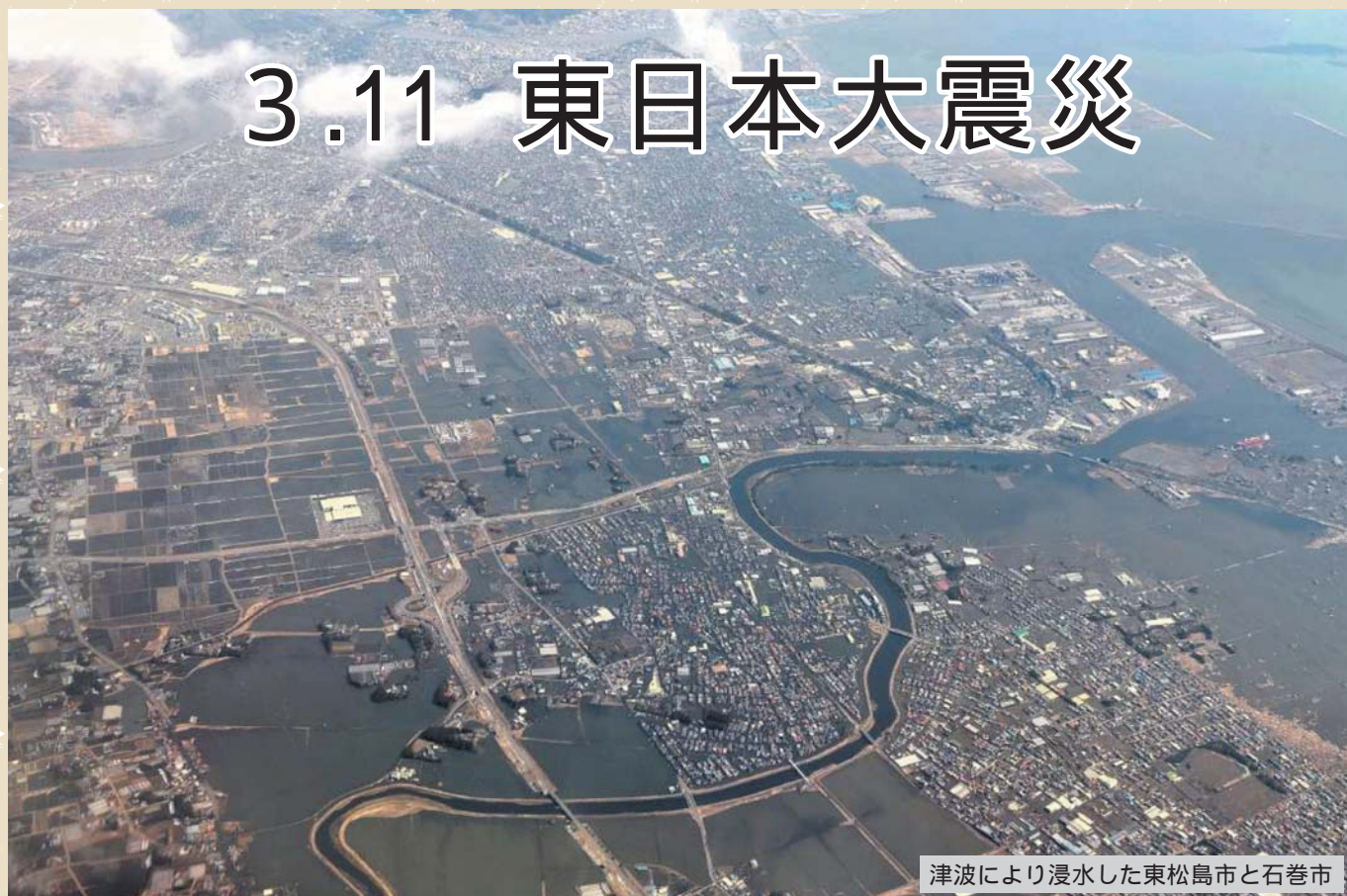


土地改良広報



3.11 東日本大震災



津波により浸水した東松島市と石巻市

Photo : アジア航測㈱

Contents

トピックス

- ・ 水土里ネットみやぎ会長就任ご挨拶 2
- ・ 東日本大震災・農林水産関係被害の状況 3
- ・ 東日本大震災に関する要請活動 4
- ・ 災害査定状況 5
- ・ 全国水土里ネット野中会長が激励 6
- ・ 第52回通常総会並びに平成22年度土地改良功労者表彰 6
- ・ 平成23年度第1回理事会 11

- ・ 平成23年度第2回理事会 11
- ・ 平成23年度第1回、第2回監事会 12
- ・ 平成23年度第1回臨時総会 12
- ・ 新執行体制が決まる 一會長に伊藤康志氏を互選 15
- ・ 佐々木勝志本会前會長急逝 15
- ・ 3.11東日本大震災復興支援 水土里の集い 16
～第34回全国土地改良大会 in みやぎ～



水土里ネットみやぎ会長就任ご挨拶



会長 伊藤 康志

8月18日に開催されました臨時総会並びに理事会に於きまして創立53年の歴史に輝く本会会長に選任され、光栄に存じますと同時に重責に身の引き締まる想いであります。

はじめに、今回の東日本大震災で犠牲となられました皆様に衷心より哀悼の意を表しますと共に、被災されました多くの方々へ心よりお見舞い申し上げます。

また、県内の水土里ネットに対しまして多くの方々から、あたたかいご支援や励ましのお声をいただきましたことに、厚くお礼を申し上げます。

東日本大震災におきましては、地震に加え津波により多くの尊い命が失われ、また、住宅やライフライン等の生活基盤、そして、農業、水産業、商工業等の産業基盤が壊滅的被害を受けました。農業、土地改良関係では、14,300haの農地が津波による浸水被害を受け、4,600ヶ所の用排水機場等農業用施設が被害を被りました。浸水被害面積は本県農地面積の一割を超え、藩祖伊達政宗公が拓き、多くの先人達により営々と築かれてきた、我が国を代表する仙台平野を中心とする、美しく豊かな豊穡の郷、水・土・里の景観も一瞬にして失われました。

このような中で、我々水土里ネットは農の再生、地域の一日も早い復興に向けて組織の総力と底力を発揮し、一丸となり復旧・復興に取り組んで参る所存であります。

また、食と農の再生を図る食料・農業・農村基本計画の実現には、汎用水田の整備をはじめ、農業水利施設の良好な保安全管理、活力ある地域づくりに向けた、農業農村整備事業の計画的かつ着実な推進が不可欠であります。農業者や地域、国民の理解と協力のもと、国、県等と一層連携を強化し役職員並びに水土里ネット会員が一丸となり取り組んで参りたいと考えております。

今、大きな時代の変革の中で、水土里ネット組織は農業農村整備事業予算の大幅な削減等厳しい試練の時を迎えております。この未曾有の国難を克服し、先人達の英知により守り育ててきた水・土・里を子々孫々の生存基盤として未来に引き継ぎ、大きく発展させることが犠牲となられた皆様に対する我々の使命であります。東北・宮城で生まれ育った我々には決してあきらめない粘り強さがあると信じています。農や地域の一日も早い復旧・復興を当面の最優先課題としながら、我が国食料の安定供給や地域農業・農村の振興発展に向け、水土里ネットの総力を結集して邁進して参ります。

終わりに、会員並びに関係皆様のご発展をご祈念し、一層の御支援、御協力をお願い申し上げ就任の挨拶と致します。

『復興へ！がんばろう宮城・東北』

東日本大震災・農林水産関係被害の状況



農林水産関係被害額 1兆2,280億円

(平成23年10月20日現在)

仙台市荒浜の水田地帯

| | | | |
|-------------|------------|---------|-------------------------|
| 1. 農業関連被害額 | | 5,144億円 | |
| 1) | 農地・農業施設被害 | 3,812億円 | 用排水路、用排水機場、農道の損壊4,617箇所 |
| 2) | 農業関係施設被害 | 317億円 | 農業倉庫、カントリーエレベーター等の損壊 |
| 3) | 農業用資機材被害 | 435億円 | トラクター、コンバイン、田植機、乾燥機等の損壊 |
| 4) | 農作物被害 | 66億円 | いちご、野菜類、麦類、花き等 |
| 5) | 生活環境施設被害 | 269億円 | 集落排水施設等の損壊 |
| 6) | 農地海岸保全施設被害 | 245億円 | 海岸防潮堤の損壊(26.5km) |
| 2. 畜産業関連被害額 | | 50億円 | |
| 3. 林業関連被害額 | | 139億円 | |
| 4. 水産業関連被害額 | | 6,853億円 | |
| 5. その他 | | 93億円 | |



蔵王町の農道



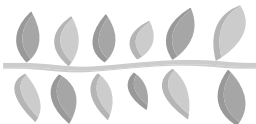
東松島市の海岸堤防



巨理町の花笠第2排水機場

この度の東日本大震災で災害の犠牲となられた方々への哀悼の意を表し、被災されている方々へ心よりお見舞い申し上げます。

また、多くの方々から、あたたかいご支援や、お声をいただきましたことに衷心より感謝を申し上げます。



東日本大震災に関する要請活動



平成23年3月11日(金)午後2時46分、三陸沖(牡鹿半島東南東約130km付近)約24kmの深さで発生した未曾有の大規模地震(マグニチュード9.0、最大震度7)により、多数の尊い人命が奪われるなど甚大な被害を受けた。

本県の農業関連でも、津波による浸水被害農地が約14,300haに及ぶなど、筆舌に尽くせぬ広範で深刻な被害となった。

この様な未曾有の災害においては、国、県の迅速で強力な支援が重要かつ不可欠であることから、震災後、復旧に向けた各段階で、関係各方面に対する要請活動を本会単独及び関係機関等との合同により実施してきた。



内閣府大臣政務官 郡衆議院議員へ要請



村井知事へ要請

| 月 日 | 要 請 先 |
|------------|--|
| 平成23年4月2日 | 農林水産大臣 鹿野 道彦 |
| 平成23年4月9日 | 衆議院議員 安住 淳、石山 敬貴、参議院議員 櫻井 充 |
| 平成23年4月10日 | 農林水産省農村振興局長 吉村 馨 |
| 平成23年4月16日 | 衆議院議員 小野寺 五典 |
| 平成23年4月16日 | 農林水産省農村振興局次長 齋藤 晴美 |
| 平成23年4月21日 | 衆議院農林水産委員会委員長 衆議院議員 山田 正彦 |
| 平成23年4月26日 | 県選出国會議員、農林水産省政務三役、民主党 |
| 平成23年5月12日 | 県選出国會議員、農林水産省政務三役、民主党、公明党、自民党、日本共産党 |
| 平成23年6月13日 | 県選出国會議員、東北農政局、宮城県 |
| 平成23年6月17日 | 農林水産省政務三役、民主党、公明党、自民党 |
| 平成23年7月5日 | 民主党農林水産部門会議 |
| 平成23年7月27日 | 県選出国會議員、内閣府政務三役、農林水産省政務三役・大臣官房・農村振興局、民主党 |
| 平成23年8月10日 | 内閣府副大臣(宮城県現地対策本部長) 末松 義規 |
| 平成23年9月1日 | 宮城県、東北農政局 |
| 平成23年9月22日 | 県選出国會議員、内閣府政務官(復興担当)、農林水産省政務三役・農村振興局、民主党 |



災害査定状況



今回の震災に対する災害査定の総申請見込み箇所数は、2,410箇所となっている。

5月の第一次査定から始まり12月の第25次査定まで計画されており、進捗状況は11月7日現在57.9%(箇所ベース)である。

宮城県内の災害査定実績及び計画は下記の表の通り。

また、北海道・青森・秋田・山形・石川・福岡・宮崎・熊本の各土連から応援協力をいただきこの膨大な災害査定に対応している。

なお、今回の災害は激甚災害の指定(政令公布:平成23年3月13日)を受け、農地等は復旧費の8~9割の補助見込み。

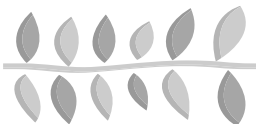


他県土地連の皆さんの応援



被災現地査定状況

| 平成23年東北地方太平洋沖地震災害査定状況 (H23.11.7 現在) | | | | | | | 単位: 千円 | |
|-------------------------------------|--------------|---------------|------------|-------|------------|-----------------|---------------------------------|----------------|
| 期 間 | 査定次 | 申 請 | | 査 定 | | 管 内 | 主な工種 | 備 考 |
| | | 箇所数 | 金 額 | 箇所数 | 金 額 | | | |
| H23.5.12 H23.5.13 | 第1次 | 4 | 15,615 | 4 | 12,673 | 大河原 | 道路 | |
| H23.5.15 H23.5.16 | 第2次 | 4 | 8,168,260 | 4 | 7,977,233 | 仙台 | 海岸 | 国代行事決定に伴い取り下げ済 |
| H23.6.13 H23.6.17 | 第3次 | 22 | 50,602 | 22 | 48,393 | 大河原 | 水路, 道路 | |
| H23.6.20 H23.6.24 | 第4次 | 35 | 156,075 | 35 | 154,844 | 栗原・登米・東部 | 集落排水施設, 水路, 道路, ため池 | |
| H23.7.4 H23.7.8 | 第5次 | 40 | 1,123,962 | 40 | 939,907 | 北部・登米 | 集落排水施設, 水路, ため池, 揚水機 | |
| H23.7.11 H23.7.15 | 第6次 | 36 | 153,680 | 36 | 139,341 | 大河原 | 水路, 道路, ため池 | |
| H23.7.19 H23.7.22 | 第7次 | 43 | 412,250 | 43 | 406,881 | 仙台・北部・登米・東部 | 集落排水施設, 水路, 道路, ため池 | |
| H23.7.25 H23.7.29 | 第8次 | 44 | 497,474 | 44 | 493,309 | 大河原・仙台・登米・東部 | 集落排水施設, 水路, 道路, ため池 | |
| H23.8.1 H23.8.5 | 第9次 | 32 | 109,551 | 32 | 108,862 | 北部・登米・東部 | 水路, 道路, ため池, 揚水機 | |
| H23.8.8 H23.8.12 | 第10次 | 97 | 1,889,059 | 97 | 1,848,597 | 大河原, 仙台, 北部, 東部 | 集落排水施設, 農地, 道路, 水路 | |
| H23.8.22 H23.8.26 | 第11次 | 64 | 710,792 | 64 | 706,562 | 仙台, 登米, 東部 | 集落排水施設, ため池, 農地, 除塩, 道路, 水路 | |
| H23.8.29 H23.9.2 | 第12次 | 108 | 2,055,875 | 108 | 2,024,034 | 大河原, 仙台, 北部, 東部 | 集落排水施設, ため池, 農地, 除塩, 道路, 水路 | |
| H23.9.5 H23.9.9 | 第13次 | 70 | 1,653,902 | 70 | 1,630,565 | 仙台, 北部, 登米, 東部 | 集落排水施設, 機場, 農地, 除塩, 道路, 水路 | |
| H23.9.12 H23.9.16 | 第14次 | 111 | 2,281,526 | 111 | 2,278,754 | 大河原, 仙台, 東部 | 集落排水施設, 機場, 農地, 除塩, 道路, 水路 | |
| H23.9.26 H23.9.30 | 第15次 | 91 | 1,891,726 | 91 | 1,881,121 | 仙台, 東部 | 農地, 除塩, ため池, 道路, 機場, 水路 | |
| H23.10.3 H23.10.7 | 第16次 | 107 | 909,688 | 107 | 907,452 | 北部, 栗原, 東部, 南三陸 | 農地, 除塩, ため池, 道路, 機場, 水路 | |
| H23.10.11 H23.10.14 | 第17次 | 109 | 2,212,640 | 109 | 2,204,369 | 仙台, 東部 | 農地, 除塩, ため池, 道路, 機場, 水路 | |
| H23.10.17 H23.10.21 | 第18次 | 84 | 4,832,151 | 84 | 4,808,019 | 大河原, 北部, 東部, 登米 | 農地, 除塩, ため池, 道路, 機場, 水路 | |
| H23.10.24 H23.10.28 | 第19次 | 131 | 903,112 | 131 | 891,356 | 大河原, 北部, 東部, 登米 | 農地, 除塩, ため池, 道路, 機場, 水路, 集落排水施設 | |
| H23.11.7 H23.11.11 | 第20次 | 163 | 14,385,184 | | | | | |
| H23.11.14 H23.12.22 | 第21次 第25次 | | | | | | | |
| | | 1,395 | 44,413,124 | 1,232 | 29,462,272 | | | |
| 総申請見込箇所数 | | 2,410箇所 | | | | | | |
| 進捗状況(箇所ベース) 57.9% | | 1,395 / 2,410 | | | | | | |



全国水土里ネット 野中会長が激励



5月25日、全国水土里ネットの野中会長、吹田副会長、佐藤専務理事が本会を訪れ、本会役職員を激励した。

会長職務代理者である佐藤副会長から被災の状況説明を受け、今後国への要請等で協力していくと答え、支援金を贈呈した。会長一行は本会役職員への激励の後、仙台市、名取市・亶理町の被災現地を視察し、被害の甚大性や特殊性を直に確認され、早期の復旧・復興への支援を約束された。



佐藤副会長から要望書を受ける野中会長



本会職員を力強く激励



花笠第2排水機場を視察



第52回通常総会並びに 平成22年度土地改良功労者表彰式を開催



本会では、去る6月30日（木）午後1時30分より仙台市青葉区のKKRホテル仙台において、第52回通常総会を開催した。

同総会は当初平成23年3月に開催を予定していたものの、東日本大震災の影響により延期となっていたもので、当日は宮城県知事代理として高橋農林水産部次長、東北農政局長代理として井上局次長、宮城県議会議長代理として小野副議長並びに衆議院及び参議院の国会議員を来賓に迎え、会員多数が出席する中、主催者を代表して会長職務代理者の佐藤副会長が挨拶（別掲）を述べ開会した。

議事に先立ち表彰が行われ、団体の部表彰として合併功労の亶理土地改良区並びに美里東部土地改良区、役員の部表彰として永年勤続功労の角田隈東土地改良区の亀谷理事長外12名の方々、職員の部表彰として永年勤続功労の美里東部土地改良区の金成工務課長補佐に佐藤副会長から表彰状並びに記念品が授与された。

引き続き来賓を代表し宮城県知事、東北農政局長、宮城県議会議長、郡和子衆議院議員、石山敬貴衆議院議員からそれぞれご祝辞を頂戴し、来賓紹介並びに祝電披露がなされ議事に入った。



第52回通常総会

議事では大崎土地改良区の菅原勘一理事長が議長に選任され、第1号議案から第13号議案までの13案件が上程され、慎重審議の結果全議案原案どおり承認可決され審議を終了した。

最後に決議案（別掲）が千葉専務理事により朗読上程され、満場の拍手により採択決定し、千葉副会長が閉会の挨拶を述べ、総会の一切を終了した。

本総会の提出議案は次のとおり。

- 第1号議案 平成21年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成21年度一般会計収入支出決算の承認について
- 第3号議案 平成21年度財産目録の承認について
- 第4号議案 平成22年度一般会計収支補正予算の理事会専決処分に係る報告承認について
- 第5号議案 平成22年度一般会計収支補正予算の承認について
- 第6号議案 宮城県土地改良事業団体連合会規約の一部改正について
- 第7号議案 平成23年度一般会計収支予算（暫定）の会長専決処分にかかる報告承認について
- 第8号議案 平成23年度事業計画について
- 第9号議案 平成23年度一般会計収支予算について
- 第10号議案 平成23年度役員報酬について
- 第11号議案 平成23年度経費の賦課徴収方法について
- 第12号議案 平成23年度一時借入について
- 第13号議案 平成23年度余裕金の預け入れ先金融機関等について

第52回通常総会・会長挨拶の要旨

第52回通常総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、会員の皆様には何かとご多用の中、ご出席を賜りました事に対しまして、心より厚く御礼を申し上げます。

また、ご来賓として、宮城県知事さん、東北農政局長さん、宮城県議会議長さん、国会議員の皆様をはじめ、関係機関の皆様方のご臨席を賜り、本総会が開催できます事に対し、深く感謝を申し上げます。

本連合会の運営につきましては、会員皆様方のご協力、そして只今ご紹介を申し上げましたご来賓各位の格別のご指導とご高配によりまして、円滑に進められておりますことに対しまして、改めて衷心より感謝を申し上げる次第であります。

はじめに、この度の「東日本大震災」の犠牲になられました方々に衷心より哀悼の意を表しますと共に、被災を受けられました皆様に心からお見舞いを申し上げます。

去る3月11日発生した「東日本大震災」は、地震に加えて津波により太平洋沿岸を中心に、県下全域が被災するという未曾有の被害を被りました。

とりわけ津波により壊滅的な被害を被りました沿岸地域は、12の市・町、11の土地改良区で13,000ヘクタールの農地が浸水、3,000ヶ所の土地改良施設、4,000億を超える甚大な被害を被りました。中には土地改良区の建物が全壊、あるいは90パーセントを超える農地が浸水した会員もあり、我々の先人が永年営々と築いてきた未来に誇れる素晴らしい美田が一瞬にしてガレキの山と化した光景を目の前に、断腸の思いを今似て絶つことが出来ません。

本会としては被災直後から国、県、市町村と連携を図りながら、会員や組合員の支援と、被害を受けた農地及び農業用施設の早期復旧・復興に向けて、全力で取り組んでまいりました。

また、今回の災害は、その甚大性から現在の法律や制度では対応困難な点が多くあることから、これらの改正や見直し並びに早期の復旧・復興、そのための予算の確保について政府や各政党に強く要請しているところであり、今後も適時適切に対応して参る所存であります。

さて、本県の農業・農村は農業農村整備予算の激減と東日本大震災による農業用施設の被害や過疎化、混住化の進展、担い手の高齢化の進行などにより、農業・農村の健全な維持発展はもとより国民に対する食料の安定供給が危ぶまれる状況になっています。

こうした中であっても、農業農村整備事業を着実に推進して行く事が不可欠であり、食料供給基盤である農地・農業用水等を質的・量的に良好な状態で確保し次世代に継承していくことが喫緊の課題であり、本連合会に課せられた大きな使命と自覚をしております。

このような状況を踏まえ、今後とも我が国の主要な食料基地として、食料供給の強化に不可欠な基盤整備や農村振興に必要な施策について、必要な予算の確保に努めつつ、積極的に展開していく必要があり、関係機関並びに会員各位との連携を一層深めながら、みやぎの農業・農村の振興発展に最大限の貢献をして参る所存でありますので皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。

今年10月に開催を予定しておりました第34回全国土地改良大会につきましては、会員の甚大な被害や予定会場の被災を考慮し、やむを得ず中止を決定したところでありますが、全国の水土里ネットの仲間、この大震災の情報を発信し、意識を共有し、早期の復旧、復興に向けて一体となり取り組むとともに、防災対策を含む今後の農業農村整備事業の更なる推進を確認することが必要と考えまして『復興へ 土地改良の底力を！ がんばろう東北・日本』をテーマに規模を縮小し、水土里の集いを本県を会場として開催することと致しましたので、皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

本日の通常総会は3月に行う予定でありましたが、この大震災により延期を余儀なくされました。この3ヶ月間の執行報告も含め、お手元の総会提出議案を上程致しておりますので、何卒宜しくご審議を賜り、全議案が順調に速やかにご承認と相成りますように、会員皆様の特段のご協力を重ねてお願いを申し上げます。開会の挨拶と致します。

決 議

今般の東日本大震災は、地震に加えて津波により太平洋沿岸部を中心に、県下全域が被災するという未曾有の壊滅的被害を被った。本会としては被災直後から関係機関と連携を図りながら農地・農業用施設の早期復旧に向けて全力で取り組んでいる。この復興には長い時間が必要と考えられるが、本会のこれまでに蓄積された技術力を発揮し被災地域の復旧・復興に最大限の努力を行う所存である。

農業・農村は、安全・安心な食料の安定供給とともに、豊かな自然環境、美しい景観の保全などの多面的機能の発揮を通じて、日本の国土を形成し、国民の日々の暮らしを支えてきた。

しかしながら、農業農村整備事業予算の激減とこの大震災の中、国においては貿易の自由化を目指すTPP（環太平洋連携協定）協議にむけた動きが継続しており、この政策は本県農業・農村への影響も計りしれなく、国民の食料安全保障や地域経済等国民生活に極めて大きな影響が懸念されることから、食料自給率の向上や多様な農業の共存、多面的機能の確保等の幅広い視点からの国民的議論を踏まえ慎重に対応することを強く求めるものである。

このような状況を踏まえ、本県の農業・農村が今後とも我が国の主要な食料基地として、食料供給の強化に不可欠な基盤整備や農村振興に必要な施策について、組織の強化を図りつつ必要な予算の確保に努め、積極的に展開していかなければならない。

我々水土里ネットは、国、県並びに市町村の支援を得ながら、先人達の叡智と努力の積み重ねに習い、農業者や地域の理解と協力のもと東日本大震災の早期復旧・復興並びに活力ある農村環境づくりと食料供給力の強化に積極的に貢献していく覚悟であり、下記事項の実現を図ることを総会の名において決議する。

記

- 一、東日本大震災による農地及び農業用施設の災害復旧事業の早期着手等、被災地域の復興を強力に推進すること。
- 二、頻発する災害への対応力を強化し安全・安心で快適な農業農村づくりに向けて防災・減災対策等を一層推進するとともに、都市との共生対流を通じて農村の活性化に取り組むこと。
- 三、食料の安定供給を担い、地域の環境や景観を創出するなど、公益的で多面的な効果を発揮する基幹的な農業水利資産を次世代に引き継ぐため、農業水利施設の戦略的な保全管理及び計画的更新整備や食料自給率の向上に不可欠な生産基盤の整備に必要な予算措置を講じること。
- 四、農村協働力を活かした地域資源や農村環境の適切な保全と質的な向上を図るため『農地・水・保全管理支払交付金』に対し、水土里ネットとして主体的に取り組んでいくこと。
- 五、地域農業の担い手の一員として、役割と責務を果たすべく水土里ネットの組織基盤の強化・充実に努めること。

平成23年6月30日

宮城県土地改良事業団体連合会

（水土里ネットみやぎ）

第五十二回通常総会

第52回通常総会・表彰者名簿

1. 団体の部表彰 (2団体)

【仙台支部】

合併功労 (平成22年4月1日吸収合併) 亘理土地改良区

【北部支部】

合併功労 (平成22年9月1日新設合併) 美里東部土地改良区

2. 役員の部表彰 (13名)

【大河原支部】

| | | | | | | |
|-----------------|------------------|------|---------|---------|---------|---------|
| 永年勤続功労 (15年4ヶ月) | 角田隈東土地改良区 | 理事長 | かめ 亀 | や 谷 | ひさ 久 | お 雄 |
| 永年勤続功労 (18年) | 柴田郡村田町外一町澄川土地改良区 | 第2理事 | おお 大 | ぬま 沼 | ただ 忠 | お 夫 |
| 永年勤続功労 (19年) | 柴田郡村田町外一町澄川土地改良区 | 理事 | よし 吉 | の 野 | せい 誠 | いち 一 |
| 永年勤続功労 (15年6ヶ月) | 柴田町土地改良区 | 総括監事 | たま 玉 | つき 槻 | まさ 正 | お 夫 |

【北部支部】

| | | | | | | |
|-----------------|-----------|-----|---------|----------|---------|---------|
| 永年勤続功労 (24年) | 鳴瀬川土地改良区 | 理事長 | てる 照 | い 井 | せつ 節 | お 雄 |
| 永年勤続功労 (16年5ヶ月) | 鬼首土地改良区 | 理事長 | たか 高 | はし 橋 | たか 孝 | し 志 |
| 永年勤続功労 (16年5ヶ月) | 鬼首土地改良区 | 理事 | たか 高 | はし 橋 | き 喜 | いち 一 |
| 永年勤続功労 (18年1ヶ月) | 美里東部土地改良区 | 理事 | こう 公 | だいら 平 | かつ 和 | とも 始 |

【東部支部】

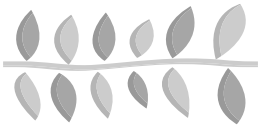
| | | | | | | |
|-----------------|------------|------|---------|----------|----------|----------|
| 永年勤続功労 (16年9ヶ月) | 北上川沿岸土地改良区 | 理事 | さん 三 | じょう 條 | しょう 正 | や 也 |
| 永年勤続功労 (15年8ヶ月) | 石巻市北方土地改良区 | 理事 | さ 佐 | さ 々 | き 木 | ただ 義 |
| 永年勤続功労 (15年8ヶ月) | 石巻市北方土地改良区 | 理事 | すず 鈴 | き 木 | | ひろし 博 |
| 永年勤続功労 (15年8ヶ月) | 石巻市北方土地改良区 | 理事 | かね 金 | こ 子 | まさ 正 | かつ 勝 |
| 永年勤続功労 (17年) | 登米吉田土地改良区 | 総括監事 | おい 及 | かわ 川 | | みつぎ 貢 |

3. 職員の部表彰 (1名)

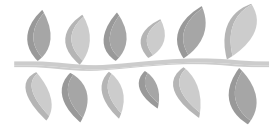
【北部支部】

永年勤続功労 (26年) 美里東部土地改良区 工務課長補佐 かん
金 なり
成 まさ
正 かず
和

《記載内容は平成23年3月31日》



平成23年度第1回理事会を開催



本会では去る6月6日(月)、平成23年度第1回理事会を開催し、第52回通常総会提出議案の変更について外の審議を行った。

当日は会長職務代理者の佐藤副会長はじめ理事10名が出席、参与の高橋宮城県農林水産部次長の臨席により開催された。

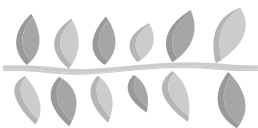
初めに今回の大震災により亡くなられた方々に対し黙祷を捧げた後、佐藤副会長及び高橋参与から挨拶を頂き、続いて東日本大震災の状況と対応について千葉専務から報告があり、佐藤副会長を議長に選任し議事に入った。

議事は3案件を上程し、事務局から議案の内容説明等を行い、原案どおり承認可決された。

議事終了後、千葉専務理事から東日本大震災に伴う支援金について、本会・会員関係について、第52回全国土地改良功労者表彰について等事務連絡を行い理事会は終了した。

理事会提出議案は次のとおり。

- 議案第1号 第52回通常総会提出議案の変更について
- 議案第2号 第52回通常総会日時及び場所の変更決定について
- 議案第3号 「3.11東日本大震災復興支援 水土里の集い
～第34回全国土地改良大会inみやぎ～」の開催について



平成23年度第2回理事会を開催



本会では去る7月19日(火)、平成23年度第2回理事会を開催し、平成23年度第1回臨時総会の提出議案について外の審議を行った。

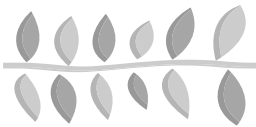
当日は会長職務代理者の佐藤副会長はじめ理事10名が出席、監事3名及び参与の高橋宮城県農林水産部次長の臨席により開催された。

議事は8案件を上程し、事務局から議案の内容説明等を行い、原案どおり承認可決された。

議事終了後、「東日本大震災被災地域土地改良負担金償還助成事業」について説明があり、千葉専務理事から東日本大震災の被害状況及び査定状況について、本会・会員関係について等事務連絡を行い理事会は終了した。

理事会提出議案は次のとおり

- 議案第 1 号 宮城県水土保全強化対策センター設置運営規程の一部改正について
- 議案第 2 号 本会基幹水利施設管理技術者育成支援事業運営資金拠出約款の廃止について
- 議案第 3 号 本会農地有効利用支援整備事業実施規程の廃止について
- 議案第 4 号 土地改良負担金総合償還対策事業審査委員会規程の一部改正について
- 議案第 5 号 土地改良基金益金の一部割戻し及び利子の一部補給について
- 議案第 6 号 基本財産の積立停止について
- 議案第 7 号 平成23年度第 1 回臨時総会の提出議案について
- 議案第 8 号 平成23年度第 1 回臨時総会の日時及び場所の決定について



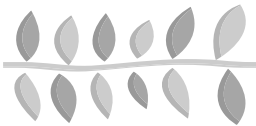
平成23年度第 1 回、第 2 回監事会を開催



本会では去る 7 月 20 日（水）小野寺総括監事はじめ監事 3 名の出席により平成23年度第 1 回監事会を 7 月 21 日（木）に第 2 回監事会をそれぞれ開催した。

議事には次の案件が提出され、審議の結果次のとおり決定した。

- 第 1 回監事会
 - 第 1 号議案 平成23年度監査実施計画について
7 月 20 日～21 日、 11 月 17 日
- 第 2 回監事会
 - 第 1 号議案 監査結果の処理方法について



平成23年度第 1 回臨時総会を開催



本会では去る 8 月 18 日（木）午後 1 時より仙台市青葉区のホテル白萩において、平成23年度第 1 回臨時総会を開催した。

当日の総会には東北農政局並びに宮城県からご来賓を迎え、会員多数が出席する中、主催者を代表して会長職務代理者の佐藤副会長が挨拶（別掲）を述べ開会した。

引き続き来賓を代表し、東北農政局農村計画部長代理で森土地改良管理課長、宮城県農林水産部長代理で高橋農林水産部次長からそれぞれご祝辞を頂戴し、来賓紹介並びに祝電披露がなされ議事に入った。

議事では柴田郡村田町外一町澄川土地改良区の佐藤洋治理事長が議長に選任され、第 1 号議案から第 5

号議案までの5案件が上程され、慎重審議の結果第1号議案から第4号議案までは原案どおり承認可決された。続いて第5号議案の任期満了による役員を選任が行われ、各支部より推薦を受け選任された計8名の詮衡委員が慎重審議した結果、役員候補者15名が我妻詮衡委員長（宮城郡七ヶ浜町七ヶ浜土地改良区理事長）より報告され、報告どおり承認された。

最後に千葉副会長が閉会の挨拶を述べ、総会の一切を終了した。

本総会の提出議案は次のとおり。

- 第1号議案 平成22年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成22年度一般会計収入支出決算の承認について
- 第3号議案 平成22年度財産目録の承認について
- 第4号議案 平成22年度一般会計収支補正予算の承認について
- 第5号議案 役員を選任について

なお、第5号議案により選任された方々は次のとおり。任期は平成23年8月23日から平成27年8月22日までの4年間。

会員を代表する理事（10名）

- 【大河原支部】 大 沼 喜 昭 柴田町土地改良区 理事長
 亀 谷 久 雄 角田隈東土地改良区 理事長
- 【仙台支部】 三 品 幸 徳 亘理土地改良区 理事長
 佐々木 一十郎 名取市 市長
- 【北部支部】 伊 藤 康 志 大崎市 市長
 加 藤 孝 志 加美郡西部土地改良区 理事長
 高 橋 義 矩 迫川上流土地改良区 理事長
- 【東部支部】 千 葉 仁 一 北上川沿岸中田地区土地改良区 理事長
 上 野 智 通 迫川沿岸土地改良区 理事長
 佐 藤 勝 也 河南矢本土土地改良区 理事長

会員を代表しない理事（2名）

- 【員 外】 加 藤 徹 学識経験者（宮城大学食産業学部 教授）
 千 葉 敬 記 学識経験者（現 専務理事）

会員を代表する監事（3名）

- 【仙台支部】 大和田 清 一 大和町土地改良区 理事長
- 【北部支部】 小野寺 衛 涌谷町土地改良区 理事長
- 【東部支部】 三 浦 敏 壽 石巻市稲井土地改良区 理事長

平成23年度第1回臨時総会・会長挨拶要旨

平成23年度第1回臨時総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、会員の皆様には何かとご多用の中、ご出席を賜りまして誠に有り難うございます。

また、ご来賓として、東北農政局農村計画部長様、宮城県農林水産部長様、をはじめ、関係機関の皆様方のご臨席を賜り、本総会が盛大に開催できます事に対し、深く感謝を申し上げます。

本連合会の運営につきましては、会員皆様方のご協力、そして只今ご紹介を申し上げましたご来賓各位の格別のご指導と、ご高配によりまして、円滑に進められておりますことに対しまして、改めて衷心より深く感謝とお礼を申し上げる次第であります。

この3月に発生した「東日本大震災」から早や5ヶ月が経過し、被災地では復興に向けた取り組みが除々に進みつつありますが、県内の行方不明者がいまだに2,400名、仮設住宅等に入居出来なく、避難所生活を余儀なくされている方々が約8,000人もおり、被害の甚大さを改めて感じているところであります。

今回の大震災は、本県農業の生産基盤に未曾有の被害を及ぼし、特に津波被害を受けた沿岸地域においては、90%を超える農地が浸水した地域、地盤沈下により農地が水没したままの地域等があり、早期の農地の除塩対策や用排水機場等の農業用施設、さらには農地の早期の復旧・復興が強く望まれているところであります。

本会と致しましては、被災直後から国・県・市町村と連携を図りながら、会員や組合員の支援と被害を受けた農地及び農業用施設の早期復旧・復興に向けた取組を推進して参りました。

現在まで、災害査定業務の進捗は県全体として20%程度となっておりますが、引き続き全力で対応して参ります。

そして、早期の復旧・復興のための予算の確保についても政府や各政党に強く要請しているところであり、今後も適時・適切に対応して参る所存であります。

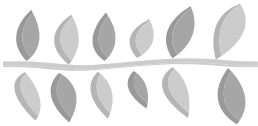
さて、本県の農業・農村は、我が国有数の食料基地みやぎとして、高品質で安全・安心な農産物の生産や活力ある地域づくりに資する活動を行ってきましたが、農業農村整備予算の激減と東日本大震災による農業用施設の被害等により、農業・農村の健全な維持発展はもとより国民に対する食料の安定供給が危ぶまれる状況になっております。

さらに、原発事故による高濃度の放射性セシウムが含まれる可能性のある牛肉の問題や、堆肥等の施用・生産・流通の自粛も要請される等極めて憂慮される状況となっております。こうした中にあっても、今後とも我が国の主要な食料基地として、食料供給の強化に不可欠な基盤整備や農村振興を図るべく、農業農村整備事業を着実に推進していくことが不可欠であり、同時にそのために必要な予算の確保に努めつつ、積極的に展開していく必要があり、関係機関並びに会員各位との連携を一層深めながら、みやぎの農業・農村の振興発展に最大限の貢献をして参る所存でございますので皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。本日の臨時総会は、平成22年度収支決算関連、平成23年度収支補正予算並びに任期満了による役員改選が議題となっております。

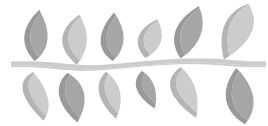
何卒宜しくご審議を賜り、全議案のご承認並びに役員の選任が円滑でありますよう、会員皆様の特段のご協力を重ねてお願い申し上げまして開会の挨拶と致します。



平成23年度第1回臨時総会



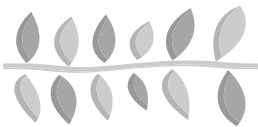
互選会により新執行体制が決まる - 会長に伊藤康志氏（大崎市長）を互選 -



平成23年度第1回臨時総会終了後、直ちに新理事により定款に定める会長等の互選会が開催された。慎重なる互選の結果、会長には伊藤康志理事（大崎市長）が、副会長2名については現副会長の千葉仁一理事（北上川沿岸中田地区土地改良区理事長）と現理事の三品幸徳理事（亶理土地改良区理事長）がそれぞれ互選された。引き続き、現行どおり専務理事を置くことが決定され、現専務理事の千葉敬記理事が互選された。

また、新監事による互選会も別室において開催され、現総括監事の小野寺衛監事（涌谷町土地改良区理事長）が総括監事に互選された。

| | |
|---------|-----------|
| 会 長 | 伊 藤 康 志 氏 |
| 副 会 長 | 千 葉 仁 一 氏 |
| ” | 三 品 幸 徳 氏 |
| 専 務 理 事 | 千 葉 敬 記 氏 |
| 総 括 監 事 | 小 野 寺 衛 氏 |



佐々木勝志本会前会長急逝



前会長 佐々木勝志

佐々木勝志本会前会長（80歳）が10月2日午後3時30分、逝去されました。

佐々木前会長は石巻市桃生町出身で、昭和46年7月桃生郡北方土地改良区の総代と同時に理事に就任し、以来40年間にわたり土地改良事業に携わり地域農業の発展に貢献されました。

この間昭和61年3月から宮城県土地改良事業団体連合会理事、平成3年8月から副会長、平成15年8月から平成23年2月まで会長として奉職されました。

温厚な人柄と豊富な経験及び見識の広さなどから信望も厚く、県下はいうまでもなく東北管内においても農業農村整備事業関係において的確な助言等により卓越した指導・統率力を発揮され、平成11年10月には土地改良事業への功労により農林水産大臣表彰を受け、また、平成19年秋の叙勲では旭日双光賞を受賞されました。

去る10月5日に石巻市桃生町で執り行われた葬儀告別式には多くの参列者が訪れ最後のお別れをいたしました。土地改良事業に携わるものにとって今回の訃報は心痛の極みであります。

ここに謹んで前会長のご冥福をお祈り申し上げます。


3.11東日本大震災復興支援 水土里の集い

 ~ 第34回全国土地改良大会 in みやぎ ~

一、はじめに

3.11東日本大震災により未曾有の被害を被った東北を始め、東日本地域の水土里ネット及びその会員と、全国の水土里ネット仲間が、情報と意識を共有し、早期の復旧・復興に一体となり取り組むとともに、防災対策を含めた今後の農業農村整備事業の更なる推進を確認するため「復興へ 土地改良の底力を 頑張ろう東北、頑張ろう日本」をテーマとし、平成23年10月20日、仙台国際センターに於いて、3.11東日本大震災復興支援 水土里の集い ~ 第34回全国土地改良大会 in みやぎ ~ を開催いたしました。



水土里の集い

全国土地改良事業団体連合会（全国水土里ネット）、宮城県土地改良事業団体連合会（水土里ネットみやぎ）が主催し、岩本農林水産副大臣、村井宮城県知事、奥山仙台市長をはじめ多くのご来賓のご臨席を賜り、全国各地から約1,150名参加のもと開催することができました。



伊達武将隊

二、オープニングアトラクション

オープニング歓迎アトラクションとして、奥州・仙台おもてなし集団「伊達武将隊」の演舞で来場者を歓迎しました。

仙台開府の祖伊達政宗公を支え、強い絆で結ばれた武将、家臣が四百年の時空を超え、「仙台藩を支える米作りはよい土壌作りと田んぼが命」であることを演舞とともに現代の人々に言上しました。

三、水土里の集い式典

式典に先立ち、今回の未曾有の大震災により亡くなられた方々に哀悼の意を表すため、参加者全員による黙禱を行いました。

集い式典では、まず水土里ネットみやぎの伊藤会長が開催県として、「今回の3・11東日本大震災は、地震、津波、原子力発電事故、さらには風評被害も加わり、過去に経験のない四重苦の大震災となりました。宮城県におきましては、沿岸部で津波により多くの尊い命が失われ、住宅やライフライン等の生活基盤、そして農業・水産業・商工業等の産業



水土里ネットみやぎ伊藤会長

基盤が壊滅的被害を受けました。農業、土地改良関係では、農地面積の割と5千ヶ所の土地改良施設が被災し、とりわけ沿岸部に広がる藩祖伊達政宗公から営々と築かれてきた仙台平野を中心とする美しく豊かな水・土・里の景観が一瞬にしてガレキとヘドロの山と化してしまいました。このような中で、国をはじめ県や関係機関のご支援、そして被災者の懸命の取り組みにより、復旧・復興に向けた槌音が響き始めています。この間、全国の水土里ネットの皆様には、心温まる様々なご支援を頂き、復旧、復興に大きな励みとなりました。改めて本日ご出席の皆様をはじめ、全国の水土里ネットの皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。この東北・東日本の地を、日本を、3月11日以前の美しく豊かな国土に再生することが

我々に与えられた最大の使命であります。今こそ土地改良がその先頭にたち、農と国土を以前よりさらに素晴らしいものに復興させることを、本日ご出席の皆様全員で確認しようではありませんか。現在、復旧・復興に向けて全力で取り組んでいます。今後とも皆様方の力強いご支援、ご協力を切にお願い致します」と挨拶しました。

続いて、全国水土里ネットの野中会長が主催者として、「日本の豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健全であって初めて維持されるものです。被災地だけではなく全国の農業・農村は、過疎化、高齢化、担い手不足などの課題が山積しています。特に農業水利施設の老朽化は、農村地域の災害が今後増加するのではと危惧されているところです。先人たちが幾多の災害をバネとし、知恵と労苦を結晶させ、現在まで継承してきたこの農業・農村を荒れ果てさせることは許されません。我々水土里ネットは、健全な農業・農村を子孫に渡す責務を負っています。農業・農村を巡る厳しい現状に立ち向かい、農林水産省を始めとする関係機関の皆様と連携し、土地改良の底力を遺憾なく発揮しなければなりません。互いに手を取り合って農業・農村の未来に向けて前へ前へと進みましょう」と訴えました。



全国水土里ネット野中会長

この後、来賓の岩本農林水産副大臣より挨拶を頂き、次に開催地を代表して村井宮城県知事と奥山仙台市長から歓迎のことばをいただきました。



岩本農林水産副大臣



村井宮城県知事



奥山仙台市長



農林水産大臣表彰

続いて、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国水土里ネット会長表彰47名が表彰されました。

報告会では宮城県の水土里ネットわたりの三品理事長と星総務課庶務係長が被災状況を報告し、復興への取り組みについては、津波浸水区域の水土里ネットを代表して水土里ネット名取の松浦事業課長から、除塩の手法およびその後の水稻の生育等について発表がありました。そして、除塩田から収穫された米が除塩の指導を頂いた農林水産省の岩本農林水産副大臣に贈呈されました。



被災状況の報告



除塩の手法等を発表



除塩米の贈呈



岩手県からの報告



福島県からの報告



茨城県からの報告

引き続き被災報告を、岩手県からは水土里ネットいわての大和農村振興部事業調整監、福島県からは水土里ネット南相馬・水土里ネット鹿島町の渡辺理事長、茨城県からは、水土里ネット新利根川の高城理事長に報告していただきました。

宮城県農林水産部の高橋次長からは、県内太平洋沿岸の津波の高さ、到達距離、浸水区域等の被害概要と、農地・農業用施設の災害復旧の基本的な流れを基に復興の理念と復興のポイントについて説明がありました。



宮城県農林水産部高橋次長

基調報告は、東日本大震災による、農地・農業用施設の被害状況及び復旧についてと農地と水を最大限に利用した安心、安全な農村づくりをメインとした農業農村整備の展開方向について、農林水産省農村振興局林田次長から報告がなされました。

基調講演は、宮城大学理事（兼）大学院食産業学研究科長であり水土里ネットみやぎの理事でもある加藤徹先生から、農業基盤の被災の特徴及び今後の農業の復興について、切迫している土地改良区の運営問題も含めた講演をいただきました。



農林水産省農村振興局林田次長



加藤先生

その後、水土里ネット名取の伊藤秀利さんと小島ますみさんが「我々水土里ネットは、今こそ壊滅的被災を受けた農地や土地改良施設の早期の復旧・復興に組織の総力を挙げて取り組みましょう。頑張ろう東北・頑張ろう日本」と力強く大会宣言を行いました。



大会宣言



水土里ネットみやぎ千葉副会長

最後に、水土里ネットみやぎ千葉副会長が閉会の挨拶を行い、3.11東日本大震災復興支援 水土里の集い～第34回全国土地改良大会inみやぎ～は、盛会裡に無事閉幕しました。



パネル展示

四、併催パネル展示

集い会場内にパネル展示コーナーを設け、大震災で被害を受けた岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の被災写真及び除塩の取り組みを掲示し多くの方々に見て頂きました。

五、視 察 研 修

集いの翌21日は、野蒜・州崎地区（東松島市）、高砂南部排水機場（仙台市）、閉上排水機場（名取市）の視察研修が行われ、3コースに262名の参加がありました。特に、野蒜・州崎地区の水田108haは浸水した上、地盤沈下も重なり一見海と思える状態が今も続いている惨状を目にし、担当者の説明に熱心に耳を傾けていました。



野蒜・州崎地区の視察



鳴瀬土地改良区から説明



野蒜・州崎地区の視察

六、お わ り に

今回の大震災についての情報、意識を共有し、早期の復旧・復興に向けて一体となり取り組むとともに、防災対策を含む今後の農業農村整備事業の更なる推進を確認するために行われた集いが、無事盛会裡に終わることが出来たことは、農林水産省はじめ、東北農政局、宮城県、仙台市、会員であります県内市町村、水土里ネットの皆様、関係団体皆様のご支援、ご協力の賜であり深く感謝申し上げますとともに、こころより御礼申し上げます。

全国土地改良事業功績者表彰 本県の表彰者

農林水産大臣表彰

千葉 仁 一（北上川沿岸中田地区土地改良区理事長・本会副会長）

農林水産省農村振興局長表彰

加藤 孝 志（加美郡西部土地改良区理事長・本会理事）

全国土地改良事業団体連合会長表彰

小野寺 衛（涌谷町土地改良区理事長・本会総括監事）

環境美化活動

当会では、毎朝始業前に、会館前歩道の落ち葉掃きなど、職員一同による環境美化活動を実施しています。

10月～12月は落ち葉掃き、雪のシーズンには除雪作業と、住みよい町づくりに貢献しています。



会館前歩道の落ち葉掃き

復興へ! がんばろう宮城・東北

水土里ネットみやぎ



「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の概要

発 生 日 時：平成23年3月11日14時46分

マグニチュード：9.0

場所および深さ：三陸沖（牡鹿半島の東南東、約130km）深さ約24km

発 震 機 構：西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

震 度：最大震度7（宮城県栗原市）



●発 行 2011年12月1日

水土里ネットみやぎ（宮城県土地改良事業団体連合会）
〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号
Tel 022-263-5811（代表）／Fax 022-268-6390
<http://www.mlw.or.jp>

●印 刷

株式会社 イシカワ印刷
〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代一丁目24-9
Tel 022-238-0999／Fax 022-235-9035

『土地改良広報』が東日本大震災の影響により4月号・8月号が発行中止となり、12月号発行となりましたことをお詫びいたします。